

●Q&A一覧 (1/28(木)開催_ODPFセミナー「データが創る沖縄のミライ」)

質問先	質問	回答
ISCO	県内のデータ利用の状況は？ また沖縄は他県より進んでいるか？	データ流通基盤において、自治体を中心となりデータ活用を推進・先行しているのは、北海道の札幌市と沖縄県です
ISCO	データ利活用セミナーは今後も開催予定か？	継続して開催予定、詳細決まり次第お知らせします
ISCO	データ活用の際の費用は？	会費制、月額制金額にて、データは無制限で使用する仕組みで検討している
ISCO	施策要点のモデル・実証について、実際のユースケースはどこかに公表されていますか？	策定したユースケースは、このあと講演のエブリセンスジャパン(株)杉山様にて紹介します 今後は、ODPFのポータルサイトへ順次ユースケースを掲載いたします
ISCO	ODPFへの各沖縄県の法人データ共有はどの程度進んでいるのか？	旅行会社およびレンタカー会社（トラフィック情報）などと個人情報を含めたルール策定を進めています。少々時間がかかってはいるが、特にデータの個人情報の取り扱いには気を付け、整理をして進めている段階です
ISCO	経営者層だけでなく、起業マインドの高い人に向けた育成事業はありますか？	起業マインドの高い方へも経営者層とあわせたセミナーや研修・講習を検討しています。そちらへのご参加をお願いします。
ISCO	スーパーシティ構想で言われているデータ連携基盤にアクセスする際のAPIは共通か？	国が推進しているスーパーシティ構想におけるプラットフォームのAPIは、設計様式:REST、データ形式:JSONと定義されております。 ODPFは、RESTに準拠した官民データ活用を促進する標準インターフェース「NGSI」経由でアクセスが可能となっております。 ※官邸「スーパーシティ解説」 https://www.kantei.go.jp/jp/singi/tiiki/kokusentoc/supercity/supercity.pdf

●Q&A一覧 (1/28(木)開催_ODPFセミナー「データが創る沖縄のミライ」)

質問先	質問	回答
エブリセンス ジャパン(株)	データの活用は仮説に基づき何を分析したいのかによって集めるデータを設計し収集していくアプローチとなると思いますが、そうではない、いろいろなデータが入っている箱からその内容を見て「こんな分析をしよう」というアプローチでうまくいった例があれば教えてください。データプラットフォームの初期のことは後者のアプローチも必要かと思う次第です。	<p>私見としてはCode for Japanの「COVID-19 Japan 新型コロナウイルス対策ダッシュボード」が取り組みとしても実績の価値からしても好例かと思いますがいかがでしょうか。自治体が公開しているオープンデータ（統一されていないファイル形式やデータ構造）や自治体側の情報公開方針が日々変わる中で、臨機応変に分析プログラムのリリース、改修、公開を繰り返し実施されてましたよね。彼らの取り組みから参考になることとしては、データプラットフォーム利用者の中でコミュニティをつくり自由に意見や情報の交換、知識のブラッシュアップができる環境があるとよいかもかもしれません。</p> <p>質問者様の「いろいろなデータが入っている箱からその内容を見て「こんな分析をしよう」というアプローチでうまくいった例」そのものへの回答としては、これも私見になりますが、アイデアソン（自由な発想）レベルではいろいろなアイデアが出てきますが、効果検証の結果「うまくいった」といえるような事例については存じ上げず、お答えしかねます。申し訳ありません。「うまくいく」状態をどう定義するかにもよりますが、このようなアプローチで「うまくいく」世界は初期ではなく成熟期なのではないでしょうか。なお、弊社も数年前からデータ活用関連のアイデアソンを定期開催しておりますが、「考えること」を鍛えるという目的でのアプローチとしては良いテーマだと思います。</p>
エブリセンス ジャパン(株)	必要なデータを選別するときのコツはありますか？	<p>シチュエーションや分析目的によって異なると思いますが、データの特徴や性質を理解すること、特徴に気づくことは大事だと思います。含まれている項目はもちろんですが、対象データ単体の癖みたいなものを捉える必要があります。分析から読み取るとともにどのような状況や目的で収集されたものなのかの裏付けを確認できると尚良いかと思います。データ提供や利用を目的とした統計データは提供者独自の基準で補正をしているので手法を確認する必要もあるかと思います。</p> <p>また、データ利用目的に応じて結果に求める精度があると思いますので、要件を整理してください。場合によっては取得に費用や契約が発生する場合がありますので、要件にもつぎ事前調査をする期間を設けておく、または継続的に実施する必要があることを想定しておくとは安心ではないでしょうか。といつつ、一方ではオーバーヘッドばかり気をとられてやりたいことが進まないよりも、できることからまずやってみるというマインドも大事だとも思います。</p>
エブリセンス ジャパン(株)	ユースケースを策定する上で大変だったところがありますか？	<p>プレゼンでもお伝えしましたが、本業務の目的は「沖縄データプラットフォームを活用したユースケース策定」であるなかで、はじめましての状態からプラットフォーム自体の有用性やご利用イメージ、本業務の目的をご理解いただき、さらに課題ヒアリングとデータ提供、分析までを限られた期間で対応しないといけなかったというのは大変でした。既にデータ活用に着手されている事業者様においては、内部リソースとしての活用を目的としているものですので、本業務の期間中にデータをご提供いただく交渉までは踏み込めないという課題もありました。これはデータを内部リソース以上の活用を進めようとしている「データ流通社会」の実現に向けた課題でもありますので、今後ISCO様や沖縄データプラットフォームの存在によって、協調領域としてのデータ活用への理解や共感を広げていけるものと期待しております。</p> <p>あとは、自治体関連のデータを分析可能な形式で調達するには時間と微妙なコスト（メディア代など）が発生するという点でしょうか。複数入手したい場合などはそれぞれ調整先や手続き方法が異なるなど、事務処理が煩雑になりますので、シチュエーションや担当者の資質、体制によっては負担になります。この点においても、今後データプラットフォームの役割に期待したい部分です。</p>

●Q&A一覧 (1/28(木)開催_ODPFセミナー「データが創る沖縄のミライ」)

質問先	質問	回答
データ社会 推進協議会	県内外の先進事例はありますか？	<p>少ないが、県外でいくつかあります。</p> <p>①伊勢の「あびや」では、観光情報プラットフォームにて得られた観光客情報・属性をもとに、うどんの販売量の調整をおこない、収益率に繋げていった事例</p> <p>②1つのスキー場がある場合、その周辺にはいくつかの集落が点在、それぞれ民宿やホテルがある。このとき、各店舗での集客情報はあがるが、スキー場のエリア内全体の情報は少ないことが多い。そのため、全体の統計情報を店舗間で情報を出しやすいよう配慮した方法で取りまとめ、それらを活用した事例</p> <p>③AIホスピタル（医療系）をより効率的に活用し、患者へ医者の労力を向けた事例</p>
データ社会 推進協議会	コロナ禍で人流データが注目されているが、人流データ以外にも重要なデータはあるか？	<p>以前、COCOAのアプリで福井の役所にて、多くの濃厚接触者を検出、クラスターになる事例が発生したことがありました。原因は、アプリがBluetooth機能でのみ判定しており、まれに起こる電波の送信強度による問題でした。この場合、役所勤務者などの属性情報が加味されることでその精度はさらに上がると考えられます。</p> <p>1つのデータをみて判断するのは危険なことであり、人流データを利用する場合もその他の属性情報（設備情報や車の情報）が必要になってくる。</p> <p>例えば、時速40kmで移動している人がいる場合、それをバリデーションするにはバス運行時間と重ね合わせて使用することがあげられる。</p> <p>また、居酒屋の混雑度についてもその店舗の稼働データを掛け合わせて判断する必要がある。</p> <p>複数データを絡ませることで信ぴょう性を上げることが重要。</p> <p>人流のキャリアデータでミクロな分析をする場合も補完データが必要となるし、自社ビジネスへ活かすには、自社の在庫データを掛け合わせるなどが必要となってきます。</p>
データ社会 推進協議会	DATA-EXでのプラットフォーム活用の矛盾（Contradiction）「協調性と競争性」に関してどのように解決しようとしているか？	<p>DATA-EXもデータ取引市場もプラットフォームは、データの提供者や利用者にとって、共通の基盤を提供し、ここのデータの内容や各種の条件には、介入しない中立性と公平性を原則としています。また、このような基盤に接続するかは、あくまで主体である参加者の選択によるもので、協議会は協調のための仕組み作りをし、競争領域の自由度を維持するものです。</p>

●Q&A一覧 (1/28(木)開催_ODPFセミナー「データが創る沖縄のミライ」)

質問先	質問	回答
(株)ツードックス	<p>実現のキーワードでストーリー軸、旗振り役、小さく素早い成功の量産が地方創生の再活性化があげられるとしていたが、地方のライフスタイルが変化することでデータ活用にどのような変化があると感じているか？</p>	<p>ライフスタイルの変化、特に今回のコロナ禍では生命や健康に関する状況下で、個人の権利よりも公の最適性が重要という世論が高まってきました。そのため公の大義のためなら、個人データを提供・活用することへの心理的なハードルが下がってきています。それをうまく活用し、成功事例をつくり世論に展開することが今後のデータ活用の需要拡大につながると思います。</p>
(株)ツードックス	<p>担当者にデータ活用の必要性を感じさせるにはどうすればいいか？</p>	<p>現場担当者レベルでいかに説得力の増す資料が作成できたか、効率的になったかなどを示して、仕組みを作ったり、リードをすることからでいいと思います。また、データ活用の利便性を実感してもらうなど小さいところからでいいと思います。</p>
(株)ツードックス	<p>地方が抱える課題解決や地方創生の取り組みにおいては、その土地に住む方（当事者）との関係性構築が大変重要な要素であることと思います。その点では、PR活動（パブリックリレーションズ）が一つのキーワードとなるかと思われますが、そのような視座で事業を遂行した事例などがあればご教示いただきたいです。</p>	<p>地元とのリレーションシップの重要性、おっしゃる通りですね。ご質問の件、PR業務自体は我々の本業ではない為、PR活動の元コンテンツを作成する事はありますが、地方創生案件において、当社がPR業務を担当した事例はありません。</p>

●Q&A一覧 (1/28(木)開催_ODPFセミナー「データが創る沖縄のミライ」)

質問先	質問	回答
Agoop(株)	1日の動きが点で把握可能であり、様々な情報を掛け合わせて点から面へ情報が見えてくるとありました。データ活用の業種はどのようなところが多いですか？	業種は様々。大学、自治体、国はもちろんのこと、製造業（B to B to C）の需要予測。B to C事業者はリアルに直結するので全般の業種が幅広く使っています。
Agoop(株)	人の属性がある程度推定できること、どのあたりが普段の生活圏であるということ、から、例えば、誘客の打ちでの検討のために、コザあるいはコザの特定の店舗等のスポットに遊びに来ている人は本土のどのエリアのどんな属性の人が多いようだ、という分析も可能ということでしょうか。	どこに住んでいる、趣味嗜好属性を持っているかがわかるので、FromToの分析（この場所にいる人がどこへ行き、さらにどこに行くのか）が可能です。 （携帯の人流データだけではないのがAgoopさまの強みということですよね？） はい、GPSを基に人流データを作っていますが、そこに色々な情報をマッシュアップしてそれだけではない価値を提供し、個人情報を特定できる分析以外の様々な傾向値をみる分析を提供しています。
Agoop(株)	人の属性、性別や年齢層も推定できるか？また、推定の精度をあげた場合、どのような調査やデータ収集を掛け合わせるとよいと思うか？	今は属性の推計は難しく、取得はアプリ回答のデータや各ソースから取得したデータを使っています。 利用の傾向から、属性を推計することへ研究を進めている段階です。 どのような調査に使えるかについては、観光や代理店者の分析に使えんと思います。
Agoop(株)	県内でもデータを取得していると思うが、県内の活用事例はある？	活用事例はまだないが、話は進めており、観光や宿泊、飲食や小売り業など一緒へ提供する話をすすめている段階ではあります。